



TITLE:

山本天文台に保存されていた望遠鏡の模型

AUTHOR(S):

大西, 道一

CITATION:

大西, 道一. 山本天文台に保存されていた望遠鏡の模型. 第二回天文台アーカイブプロジェクト報告会集録 2012: 25-26

ISSUE DATE:

2012-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/158302>

RIGHT:

山本天文台に保存されていた望遠鏡の模型

大西 道一

山本一清博士は山本天文台の観測室の下に博物館のように天文学に関する実物・模型などの資料を収集保存されていた。いろんな分野があるがその一つとして望遠鏡の模型がある。木製の望遠鏡模型は以下のものがある。模型には付箋を付け下記の様に記入されていた。

1. キルソン山天文台、六十吋反射鏡 模型
2. キ”クトリヤ天文台、七十二吋反射鏡 模型
3. キルソン山天文台、百吋反射鏡 模型
4. レプソルド式子午環 模型
5. ワンシャフ式天頂儀 模型
6. 子午儀 模型

これらの模型は材木を加工し一部金属を使用しているが、白木の儘で塗装をしていない。今後縮尺などの調査が望まれる。

東亜天文学会の広島総会(1956年5月26～27日)の26日の表彰式で長谷川一郎氏、本田実氏及び三谷哲康氏に表彰記念品として望遠鏡の模型を贈られている。この模型はヴィクトリア72インチ反射鏡であるが上記の模型よりより細部に手を加えた模型で木製の本体に銀色の塗装をしたものである。

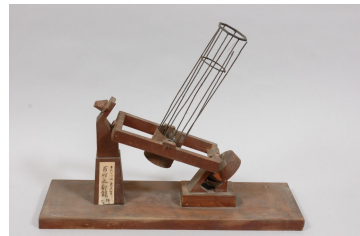
なお、翌27日は山本一清会長の第67回誕生祝賀会として午餐会があり寄せ書きが贈呈された。この寄せ書きは今回の資料倉庫に現存している。



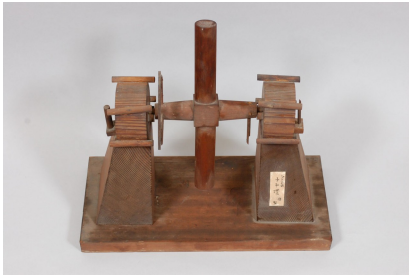
キルソン山天文台六十吋反射鏡



キ”クトリヤ天文台七十二吋反射鏡



キルソン山天文台百吋反射鏡



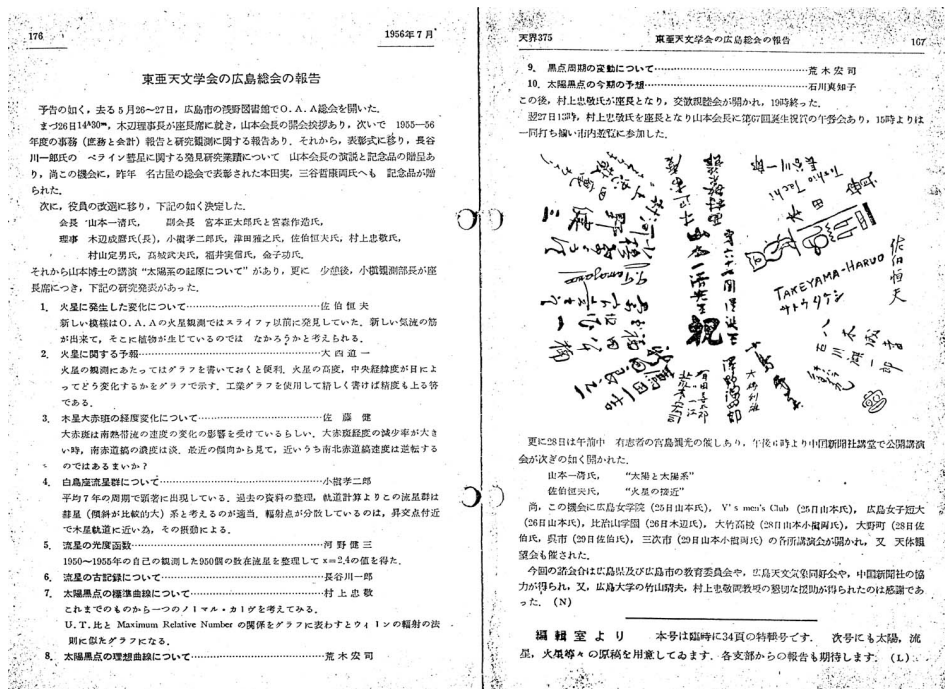
レプソルド式子午環



ワンシャフ式天頂儀



子午儀



東亜天文学会広島総会の様子を伝える『天界』の記事